

すつかり忘水のた 照屋は剛  
成功す。まぬ日は何の良し而大守を待つて  
来ると思ふ。まぬに配せおにゆつとり休のま

照屋長！松分頭長

村大尉

日記

(1)

あとのき

少年復讐隊隊中の模倣と沖繩戦秘史  
 とくは是非残したいと考へ當時屋嘉の収容  
 所が昔の綴りましが不幸にして中絶  
 復員後一部書き続けようと思ひ  
 官達の取締の爲れ亦未完に終り  
 今回の渡航と機会に今は七ヶ月戦友の雲前  
 多向けようと信時と追憶して書き加へます

四月二十三日 統制と本報半島と友軍の

つてあつて、夕三島は逐に四千名を越す原に居る  
 敵の砲撃は次第に熾烈となつて来た

絶對に逆襲戦の基地として夕三島は中隊であつた  
 といふ事より隊長に夕三島中隊の最高責任者と

あつてむらむ各初隊を掌握しては好む  
 夕三島周囲に落下す。砲撃は名復員所らし  
 ぬがわりなく支隊のはい、とうも飛んた

誰しも同感なつてあつた名復の砲兵隊地攻を  
 強決意す

管長少尉に夕三島基地の死守を命じて、本報中隊に  
 急が、本報中隊も夕三島上薄の台地に整列せし

時々機銃掃射の飛来す

今回の名復隊の目的と任務の重要性を説いた後

命令をて下達し、  
部隊は整着と前進し、  
聖三ヶ所には原隊進んで部隊を分遣して、  
敵状

偵察にも専念す

名目も望み見ると砲上附近一層は砲煙に包まれ、  
友軍の敵状共に不明であるが苦戦してゐるらしい事の内  
分る。早くも名度の砲兵と攻撃機隊へてやうな  
水はいけな

ノ刻隊を攻撃停止して前進せしめて待機(下後隊員)

試験所の台地)十時頃米軍陣地内より空襲外報  
くさいサイレンを聞く船として遠くは爆音

全員息を吞む内に名度湾に大火柱!

やうに、友軍の特攻機は、今迄月明の海に降着と  
湾をのびた艦艇も一時は轟沈、戦場は亦もこの  
静けさに帰る。幸先、と静寂な道に

攻急進の勢を察し、眼下には電燈を照らす  
艦隊も、港湾施設等の横たわり、戦場も、  
標的を撃つが、  
ヒルゲの標的標集場所

各隊員目標毎に三人を組とする挺身奇襲隊の隊員は  
一とあり、命令異常に緊張である。こいつは時に  
我知るやに喉を、誰ものようであつたら、  
突如眼前で大爆音——攻撃成功である

続いてオーストリアの目標も成功大、同時に捕虜の  
撤退支援射撃も敵はもう固執強固してあり  
今迄ヘンドライトを叩いて疾走してのみ自動歩  
別も此方と止つた所を以て陣内を攪乱射撃  
然し敵は絶対射撃物大早く大砲を離脱し  
付水はいつかの敵もさるもの遠次原野を用  
習大、約三百名位撤退し只噴き出し血塗  
山に向つて逆登苦茶に発砲しはる急が  
予定集結地点まで進み進みはる急が  
夜の明けると共に原野の霧の養生一は谷間で  
集結を完了して揚子江で朝食を摂る、先  
敵の疲勞を覚えずもう深い眠りに入つたものも居る  
朝方、何となく谷文岳の方の静けである、夜はあ  
思ふと谷文岳より伝令が来た、昨日基地は敵の  
全面攻撃を受け、管江射以下主名戦死、各隊は保  
何に移動し、幸之助隊や其他の各隊は固執  
に立つて逆登戦をやるんだと言つて、何の抵抗もせず  
基地を奪つて、夜明け一はとの報告があった  
矢張りそうだったのか、残念だが、自身軍にはこんなもの  
だったのか、今も幸之助隊は、何となく一はの部  
隊の、どうも、今も情なくなる。  
一は、管江射の戦死は、惜しい男を失つた、あの戦況  
に、一は、管江射の戦死は、隊の戦力の殆んど

大車を前失し、しるしを頼り、大にうろたへる者あり

責任觀念の一人一倍境い彼の事である故に心積り  
落り、ある或れの態度も實に主敵であつたと

口聞いた

と、帰らうとへり基地の崩壊以上各隊の所  
確の連絡を充分に取らねばならぬ

必要は態勢を整へるに依り、(一)各隊の  
連絡基地として各隊の状況を把握する

先遣は彼の兵舎をむすび、けりてある材料が所  
の物は何れも利用し、只簡單に、空の両容を

着ける所である

原田君の戦友に對して

て、最初のすゝの谷留までやつて、息を吐いた  
彼は、ある谷留の戦いの際、重傷を蒙り、

為る原田の陣地に移動中であつたのであるが、  
屍体は戦友達の手に依り、埋葬せられ、立木を筆力

割つて、戦友の墓標を立て、一帯に

戦友の遺骨に、伝令の帰つて、ある者は今の  
戦神に、遺骨を居た、事に決めた、どうも、

食糧は欠乏して、一食分を三日に水増し給ふ、  
字指は何れも、谷留の戦場の知り、

三月に、戦友の遺骨を、戦友の遺骨を、

東の艦に極東神点と夜是すんし東に原日と  
道中久志大川の上流に多良川中野。道行班や信理  
二つと森合公更の細部。状況と押り信教と  
一と二と三と協候一長結果と中野。日合初大

年と中野の清誠と中野合初  
に信教と道行信理と中野  
昔の大河信号と中野  
名保と一と二と三と  
す。中野と一と二と三と

北の地区の現況報告と中野の  
信教と道行信理と中野  
一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と  
中野の現況報告と中野の  
一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と

各の報告及び中野の現況報告と中野の  
一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と  
中野の現況報告と中野の  
一と二と三と四と五と六と七と八と九と十と

雨おちり 雨止り 毛布をかきつゝ、しよんぼりとまつり  
法をのを見りて、うき思ふことあり亦何となく念ふ地  
か、原に足りて、とて、師長より今迄の戦中  
経過の既成すの報告をよみ、再び、戦中の経過に  
関して指示をよみ、

猶一はらく、時日を経過し、或る日 五月十日頃 北城

指し、得着 絶対生還は困難と思つて、半ば  
あきらめて居る。軍司令官は、信令の帰つて来られた  
全隊が有難い、と、喜んで居た。今迄の戦中の

大胆な行動は、部隊が士氣を益々昂揚し、  
報告の大西は、任務を完全に遂行し、軍主力の  
現況も情報も持つて帰つて来られた。途中の行動

概要であつた。本營に情報伝へられた。由緒が、  
それ以上何の言ふ中、何の言ふ中、  
軍司令官、軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、

軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、

軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、

軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、

軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、  
軍司令部、

此の地帯は、古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。

この地帯は、  
古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。

この地帯は、  
古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。

この地帯は、  
古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。

この地帯は、  
古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。

この地帯は、  
古くより、  
山岳地帯に属し、  
交通不便な地帯に  
属し、  
人口が少なく、  
経済が停滞している。  
この地帯を、  
積極的に開発し、  
交通を改善し、  
人口を増やし、  
経済を活性化させる。  
が、  
最大の課題である。







